自治体向け

ガバメントライセンス

BizRobo! mini

RPA製品 ご紹介資料

© OPEN, Inc. All rights reserved.

INDEX

・01 BizRobo! mini(ガバメントライセンス)とは …… 03
・02 RPA導入でよくある課題 …… 04
・03 BizRobo! mini(ガバメントライセンス)の特徴 …… 05
・04 BizRobo! mini(ガバメントライセンス)の強み …… 06
・05 なぜBizRobo! mini(ガバメントライセンス)を選ぶのか …… 07
・06 活用事例 …… 08
・07 ユーザーの声 …… 12
・08 ご利用料金 …… 16
・09 BizRobo! mini(ガバメントライセンス)の製品内容 …… 18
・10 サポートコンテンツ …… 21
・10 RPA導入の進め方 …… 24
・11 カスタマーサクセスによる徹底した支援 …… 25
・12 よくあるご質問 …… 26
・13 BizRobo! をもっと知る …… 30

企業情報

・会社概要 …… 32
・営業拠点 …… 33

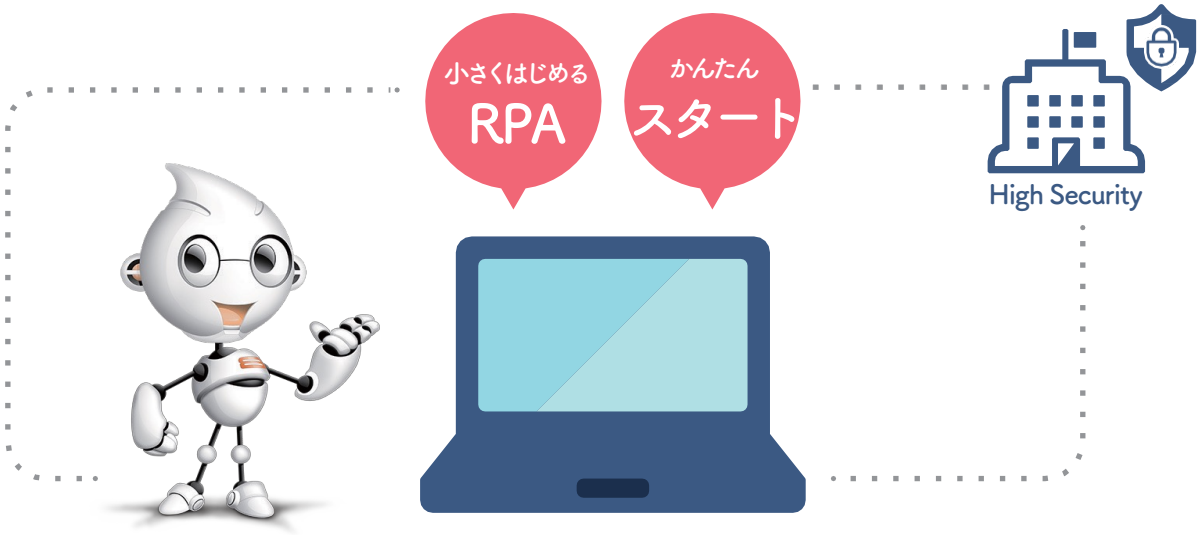
© OPEN, Inc. All rights reserved.

01 BizRobo! mini（ガバメントライセンス）とは

BizRobo! mini（ガバメントライセンス）とは、

LGWAN接続が必要な環境や業務においても

RPAのスモールスタートができる製品です。



セキュリティ面においてシステム構築が難しいネットワーク環境での業務も

RPAで自動化していくことができ大きく生産性をあげていくことができます。

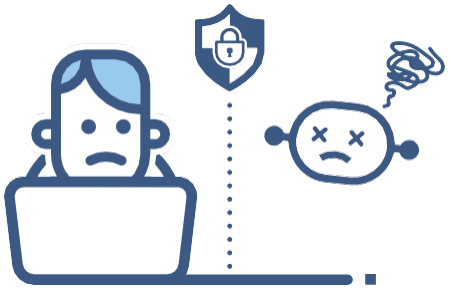
※LGWAN接続系を契約した場合

© OPEN, Inc. All rights reserved.

02 RPA導入でよくある課題

RPAを導入したいと思っているが

自治体ネットワーク内での環境がつくれず断念していませんか？

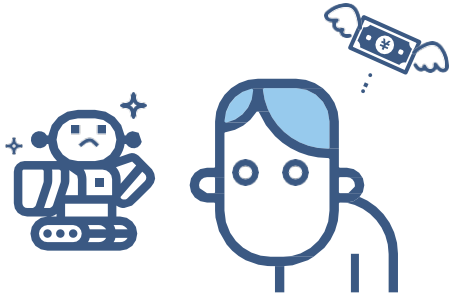


LGWAN環境の業務で利用できない

自治体は個人情報を取り扱うセキュリティ関係上、容易に手を出せない。また、LGWAN業務で使えないものが多い。

ロボットの実行が不安定

色々なRPAツールも試してみたけど処理が安定しない。実行途中で止まることが多く、実業務への適用が難しい。



スモールスタートできずプロジェクトが進まない

気軽に本導入ができないので、展開する前にスモールスタートで試してみたいが、サーバーの用意も面倒だし料金も高いものが多い。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

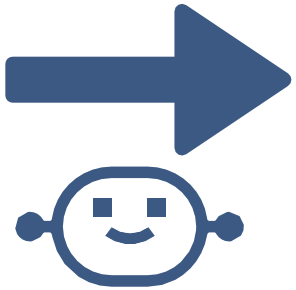
03 BizRobo! mini（ガバメントライセンス）の特徴

特別な準備をしなくても自治体ネットワーク内で

RPAをスモールスタートしていけます

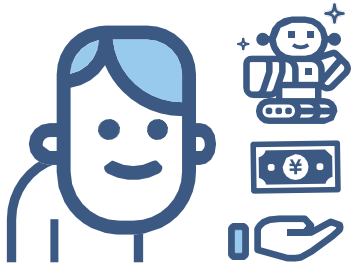
LGWAN環境でも利用が可能

LGWANの環境内に認証サーバーを設置しているので、個人情報を取り扱う業務に対してもRPAで作業を自動化することができる。



ロボットの実行が安定している

業界唯一のロボット実行処理（バックグラウンド実行）が使えるので、止まりにくい安定したロボットを制作・運用することができる。



スモールスタートしやすい料金設定

自治体様向けの特別価格を設定。もっともお使いいただきやすいプランになっており、上位プランへも容易に変更することができます。

※LGWAN接続系を契約した場合

© OPEN, Inc. All rights reserved.

04 BizRobo! mini（ガバメントライセンス）の強み

BizRobo! mini（ガバメントライセンス）は

全社展開を見据えた将来性のあるRPAツールです。

一般的なRPAツール	BizRobo! mini（ガバメントライセンス）
・LGWAN環境の業務は自動化できない	・LGWAN環境の業務もRPA化ができる
・ロボットが増えるたびにライセンス料が増加	・ロボットを何体つくっても料金は同じ
・ユーザーによるロボット実行	・スケジュールを組んで自動実行ができる
・全社展開時に想定外の費用と労力がかかる	・かんたんに全社展開できる

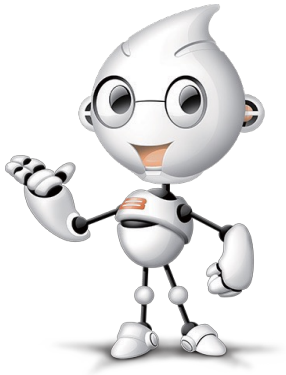
© OPEN, Inc. All rights reserved.

05 なぜ BizRobo! mini（ガバメントライセンス）を選ぶのか

クライアント型RPA	サーバー準備が不要	LGWAN対応	充実の機能
↓	↓	↓	↓
安価で導入可能	すぐに利用できる	LGWAN接続が必要な業務も自動化	対応可能な業務範囲が広い

日本で10年以上の実績のあるRPA「BizRobo!」で業務効率化

LGWAN-ASPサービス登録済み！
LGWAN環境でもBizRobo! mini利用可能！
ASPコード：A831044



※LGWAN接続系を契約した場合

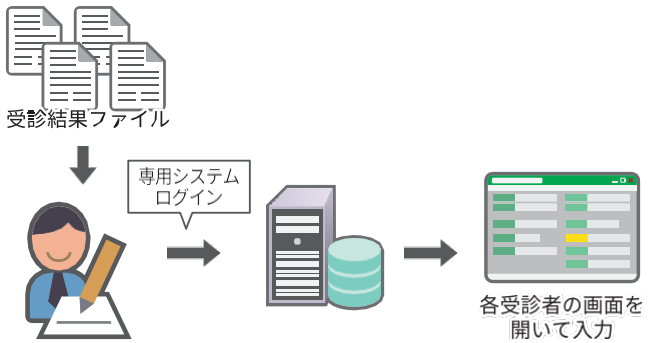
© OPEN, Inc. All rights reserved.

06 活用事例

健康診断関連業務

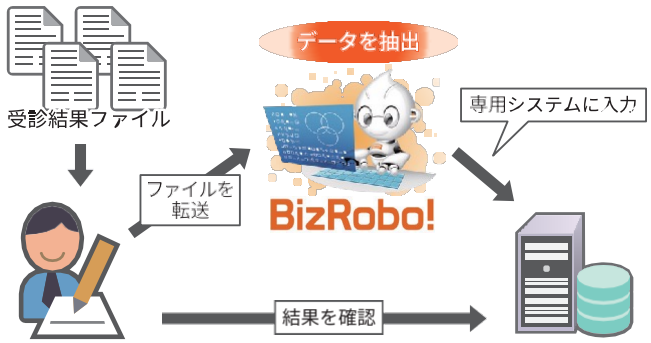
健康推進課

Before



①各医療期間（40以上）から健康診断の受診結果が届く
②**担当者**は専用システムにログイン
③**担当者**は各受診者の画面を開く
④**担当者**は診断結果を入力

After



①各医療期間（40以上）から健康診断の受診結果が届く
②**担当者**は送られてきたファイルを転送
③各フォーマットを判別し、適した**ロボット**が稼働
④各**ロボット**がデータを抽出・入力し、**担当者**は結果を確認

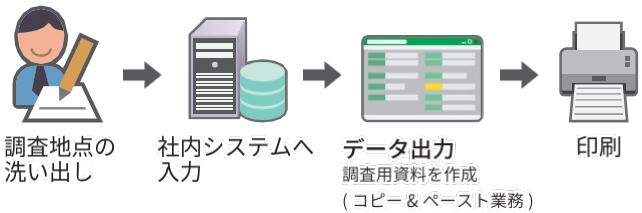
年間200時間以上の作業が50時間に短縮

© OPEN, Inc. All rights reserved.

課税賦課現況調査資料の作成

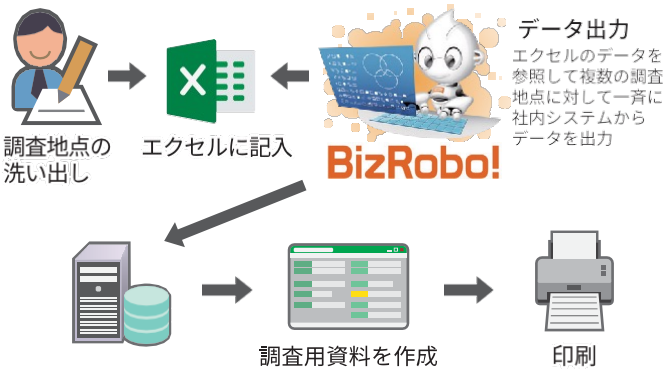
課税課

Before



①**担当者**は現地地点の洗い出しを行い、社内システムへ入力
②**担当者**は社内システムからデータを出力
③**担当者**は出力情報をもとに調査用資料を作成
④**担当者**は調査用資料を印刷

After



①**担当者**は現地地点の洗い出しを行い、エクセルにまとめる
②**ロボット**がエクセルを参照し、社内システムからデータを出力
③**ロボット**が出力情報をもとに調査用資料を作成
④**ロボット**が調査用資料を印刷し、**担当者**は結果を確認

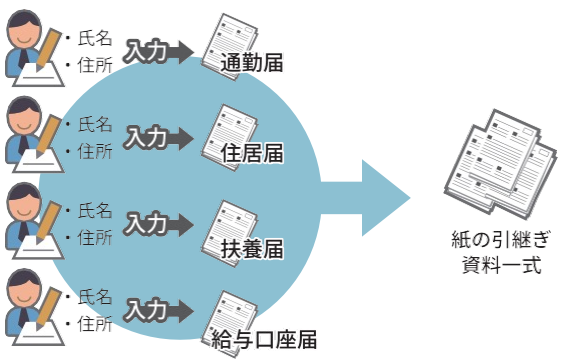
毎年2,160時間かかっていた作業が半分まで削減

© OPEN, Inc. All rights reserved.

人事異動時の基本情報の入力処理

総務課

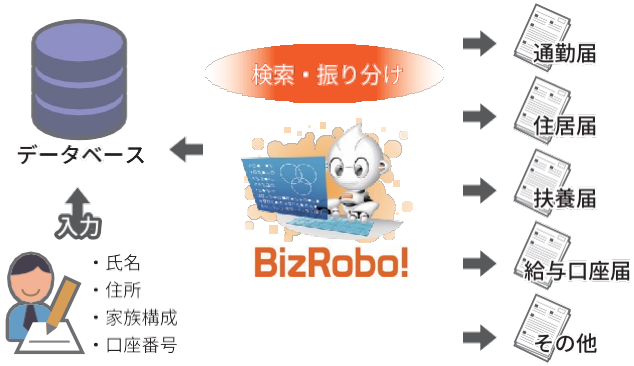
Before



■個別のシステムごとに、職員の基本情報を繰り返し入力しているため非効率

■基本的に紙による引き継ぎのため、業務効率化が難しい

After



■人事異動の際、職員の基本情報(所属・職位・住所・メールアドレス等)を紙で引き継いでいる。これを電子化し、システムに自動で入力したい

■職員の基本情報を複数のシステムに入力する必要があるため、一度入力したら他のシステムにも自動で反映したい

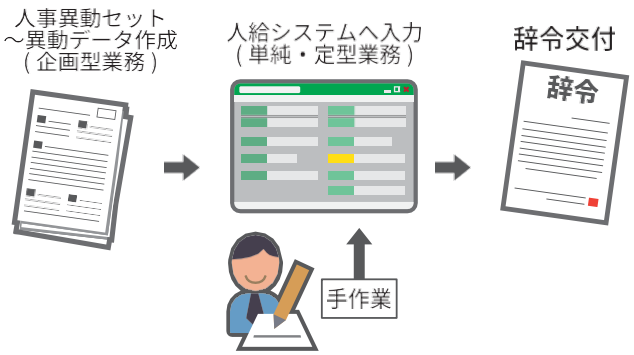
手作業だった入力が自動化され、年間150時間の削減

© OPEN, Inc. All rights reserved.

人事異動情報を登録する業務

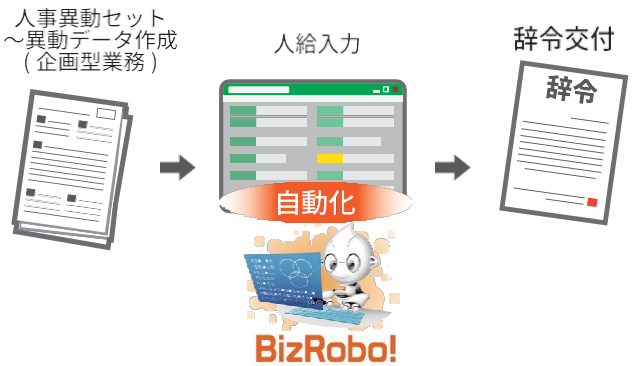
大臣官房
秘書課

Before



■職員の手入力による発令処理：
1件あたり10分×900件/年間=9,000分（約150時間）

After



■作業をロボットに置き換えることで創出された時間：
人事異動情報の記載された「作業ビラ」をRPAが扱いやすい書式に変更するなど、業務の方をRPAに寄せるように試行錯誤し、楽しみながら開発を行えた

作業時間を約3分の1未満まで短縮できた

© OPEN, Inc. All rights reserved.

07 ユーザーの声

経済産業省（公式サイト：meti.go.jp/）

現場課題 デジタル化を呼びかける経産省 足下から実践に着手

生産年齢人口が減少する日本の産業界にデジタルテクノロジーを活用した生産性向上を呼びかける経済産業省は、**行政手続や省内業務においても同様の取り組みが必要と判断**。業務プロセスの見直しやデータ利活用などを進める新部署「デジタル・トランスフォーメーション室」を2018年7月に設置している。

こうした動きの中、経産省の人事事務と働き方改革を担う大臣官房秘書課は、**省内への普及も視野にスモールスタートでの業務改革に着手**。具体的な手法としてRPAに着目し、同年3月からツールの検討を始めた。

導入効果 処理時間は3分の1未満 確認作業の負担も軽減

実地で検証した結果、**従来の手作業で1件につき10分を要していた登録作業は、ロボット化で同3分に短縮**。転記でミスを起こす可能性がなくなり、辞令交付前の確認にかかる負担も軽減された。

従来の作業ビラは、人間による登録作業を前提としていたことから分類の項目立てが緩やかで、自由記述に近いデータや未記入欄も許容されていた。あくまでも機械的に処理を行うロボットに、こうした様式やデータをそのまま渡すとエラーの原因となるため、今回のロボット化に際しては作業ビラを最適な様式に作り替えたほか、人給システムへの登録作業に先立って該当のデータを適宜修正している。

こうした移行作業が一巡すれば、作業ビラから人給システムへの登録は完全自動化する。担当者は近い将来、**登録作業をロボットに“手放し”で任せ、他業務に専念できるようになる見込みだ。**

経済産業省
BizRobo!導入
インタビュー事例

全文はこちらから

https://rpa-technologies.com/wp-content/uploads/2020/03/meti_bizrobo_case.pdf

© OPEN, Inc. All rights reserved.

ユーザーの声

広島市（公式サイト：city.hiroshima.lg.jp）

現場課題

コスト削減と行政サービス拡大 既存のやり方を見直し効率化

近年、広島市では行財政改革の一環としてコスト削減に取り組んできたが、その一方で少子・高齢化などの社会情勢の変化にともない、行政サービスは拡大し続けていた。これにより、市の運営や住民とのつながりなどの知見を持った職員が事務作業などの定型的な業務に時間をとられ、新たな事業の企画・立案など**「職員でなければできない仕事」に注力できないという課題があった**。

課題解決の手段として挙がったのが、**RPAとOCRを組み合わせたソリューションの活用**だ。これらのツールを導入することで、既存のやり方を見直し、業務効率化を進めていくことはできないか。こうした仮説のもと、行政経営の効率化・最適化などを担う企画総務局行政経営部行政経営課が主導となり、導入の検討をはじめた。

導入効果

集中力を要する入力作業をRPA化 職員の精神的・身体的疲労感が軽減

ごく少量の入力であれば職員が作業した方が早いが、膨大な作業の場合はRPAを活用すると効率的といったように、**特性を意識した活用が進んでいる**。実際に現場でEneRoboを使用している広島市南区役所厚生部の花房菜々子氏も、「使用しながら改善を重ね、現在はEneRoboにより手入力時よりも一作業にかかる時間が短縮しています。その時間に他の作業に注力できるようになりました」と話す。

現在は13業務で20体のロボットが稼働中。さらに、導入して満足するのではなく、**「よりスムーズに修正を含め進められるようにしたい」と新たな改善点を見つけるほど積極的に活用している**。笹山氏は「RPAとOCRを組み合わせた定型業務の自動化のソリューションで、業務効率化を実現できた。これからも活用をさらに進め、創出された時間を既存サービスの向上や新たな市民サービスの提供にあてたい」と意気込む。

広島市
BizRobo!導入
インタビュー事例

全文はこちらから

https://rpa-technologies.com/wp-content/uploads/2022/06/city-hiroshima_bizrobo_case.pdf

© OPEN, Inc. All rights reserved.

ユーザーの声

愛知県 大府市役所（公式サイト：city.obu.aichi.jp）

現場課題 事務作業の省力化が課題に 時間外労働や職員の負担軽減

大府市では日頃の膨大な作業量から職員の時間外労働が常態化し、かねてより事務方の業務省力化が課題として持ち上がっていた。**作業効率化を図りITシステムの導入もたびたび検討されていたものの、導入コストが大きな懸念材料となり、なかなか進まずにいた**という。

「すでに主だった業務へのシステム導入は済んでいたので、とりわけ細かな業務に関してシステムを入れるとなると、費用対効果の面で疑問が残りました。そんななか、ここ数年の間でよく耳にするようになっていたRPAは、我々にとってまさしく“渡りに船”だったわけです」（総務部総務課情報システム係総括係長・新美清和氏）

導入効果 集中力を要する入力作業をRPA化 職員の精神的・身体的疲労感が軽減

実証実験では高齢障がい支援課の「要介護者データ処理・手紙作成業務」、保険医療課の「年金特徴開始通知作成業務」でも時間削減効果が見込まれ、**対象となった3業務トータルでの年間削減効果は160時間超に達した**。

本格導入を進める201 9年度からは、総務課の全メンバーがロボット作成を担当し、対象部門への要望調査・ヒアリング、開発検討、業務フローの整理、ロボット作成等を全般的に行う体制を整えた。RPAの導入を進めるなかで、多くの部門で事務フローを見直す習慣ができ、**実際に作業をロボットに代替するかに関わらず、現場が業務改善を図れると気づく副次的効果も得た**という。

2019年度に総務課情報システム係へ異動してきた太田茉知氏は、もともと在籍していた福祉子ども部子育て支援課の一部業務をロボットに代替しようと考えている。

愛知県 大府市役所
BizRobo!導入
インタビュー事例

全文はこちらから

https://rpa-technologies.com/wp-content/uploads/2022/06/daihushi_bizrobo_case.pdf

© OPEN, Inc. All rights reserved.

ユーザーの声

千葉県 市川市（公式サイト：city.ichikawa.lg.jp）

現場課題 「自治体ならでは」の課題 作業時間短縮、人為的ミスの軽減

千葉県 市川市でRPA導入の検討が開始されたのは、2018年4月頃だ。当初RPA推進業務を任されたのは、企画部　行財政改革推進課（現・行政経営課）の皆さん。当時、同課に在籍していた森本豪氏は、市川市での**導入の背景にある「自治体ならでは」の課題**を次のように説明する。

「どこの自治体でも同じだと思いますが、職員は恒常的にある窓口対応や膨大な作業量に対応しています。特に繁忙期は、職員の時間外勤務が常態化しがちです。市では、職員の給与をはじめさまざまな支出が市民の皆様の税金によってまかなわれているので、**職員の健康維持を図りつつ、貴重な人件費を最大限に活用しなければならないという課題がありました**」（森本氏）

導入効果 本格稼働に向けた動作シナリオ作成 BizRobo!の活用で大きな業務効率化

BizRobo!導入からはまだ日が浅いため、大きな数値的成果は生まれていない。しかし森本氏は「操作研修での職員の様子などを見ていると『新しいツールを活用して、**どのように“楽しみながら”業務改善につなげていくか』という意識の芽生えを感じた**」と話す。

「やはり仕事は楽しくやりたいもの。本来の公務員の仕事は創造的なもので、事務的な作業ベースでやることではないと、個人的にも思います。BizRobo!は、**窓口での市民とのコミュニケーションや個別のアドバイスのような、我々のような公務員が本来やるべき仕事、市民から本当に求められている仕事に視野を広げる、よいきっかけにもなるかもしれません**」（森本氏）

千葉県 市川市
BizRobo!導入
インタビュー事例

全文はこちらから

https://rpa-technologies.com/wp-content/uploads/2022/06/chiba-ichikawa_bizrobo_case.pdf

© OPEN, Inc. All rights reserved.

08 ご利用料金

自治体のハイセキュリティなネットワーク環境でも 安心してお使いいただけるRPAです。

ガバメントライセンス
BizRobo! mini

［製品内容］

- DS ［ロボット開発ツール］デザインスタジオ
- DA ［端末操作ツール］デスクトップオートメーション
- Lan ［スケジュール実行ツール］BizRobo! ランチャー
- Sup 各種サポートコンテンツ

チャットによるリアルタイム相談も可能！

［BizRobo! Lite / Basic］

- MC ［統合管理ツール］マネジメントコンソール
- RS ［ロボット動作環境］ロボサーバー
- Kap ［ロボット実行アプリ］カプレット

※サーバー型RPAプランでは上記全ての製品利用が可能です。

タイプ	実行環境
クライアント型（オンプレミス）	ローカル
ロボット同時実行台数	**同時開発台数**
1台	1台
管理機能	**スケジュール実行**
有り（一部機能制限あり）	可能

© OPEN, Inc. All rights reserved.

ご利用料金（価格シミュレーション）

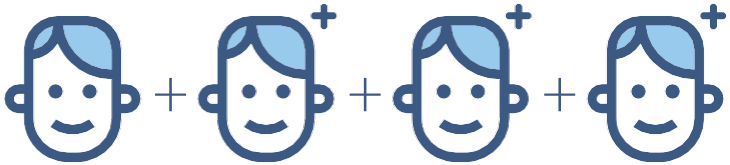
製品価格

1アカウント
¥600,000

追加アカウント
¥200,000
※2アカウント目以降に適用

3アカウントセット
¥900,000
※都度追加は適用不可

シミュレーション（4アカウント購入）



1アカウントずつ追加
¥1,200,000

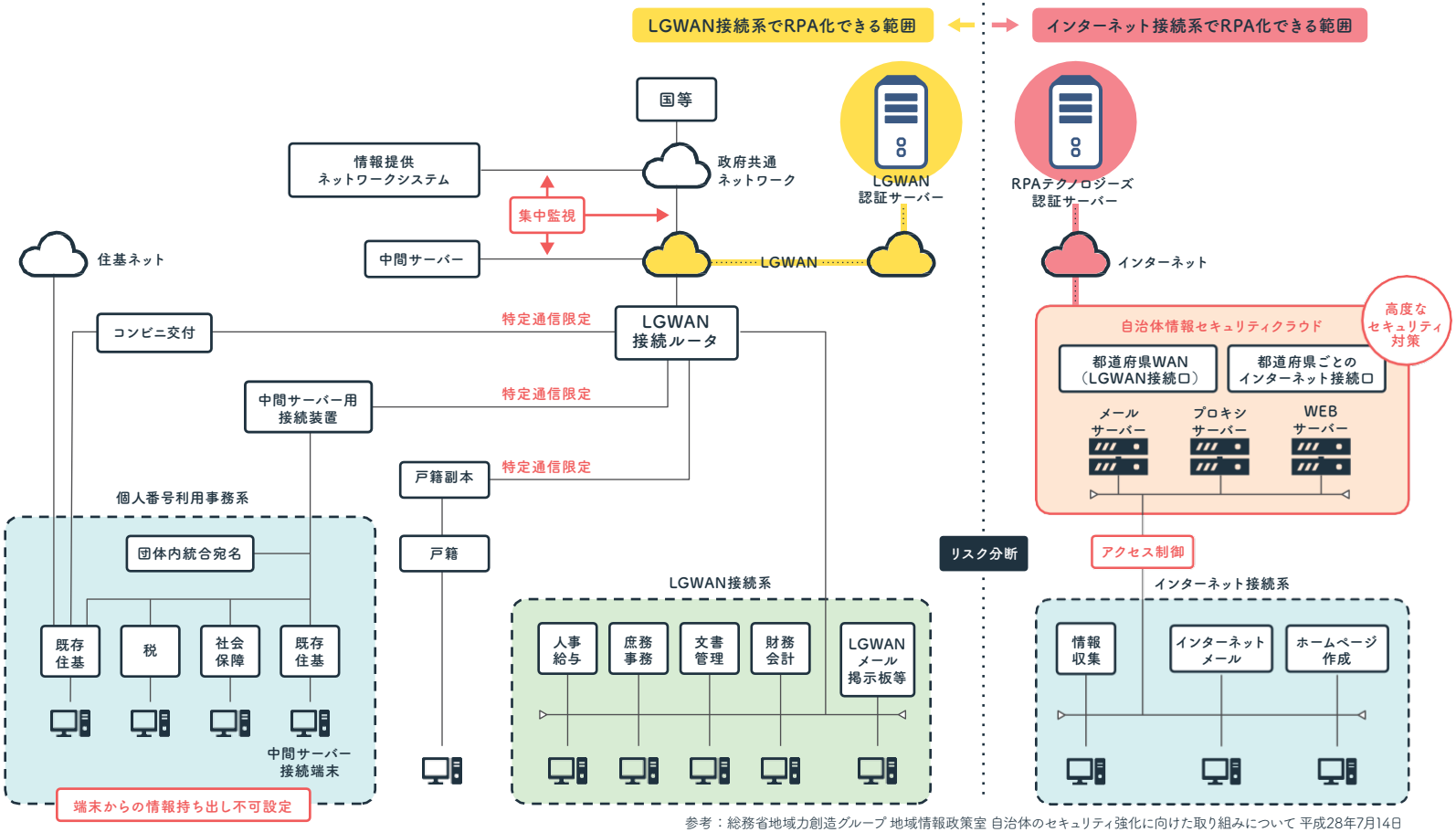
3アカウントセット＋1アカウント追加
¥1,100,000

© OPEN, Inc. All rights reserved.

09 BizRobo! mini（ガバメントライセンス）の製品内容

自治体ネットワークと認証サーバー

インターネット接続系、LGWAN接続系から選択可能です。

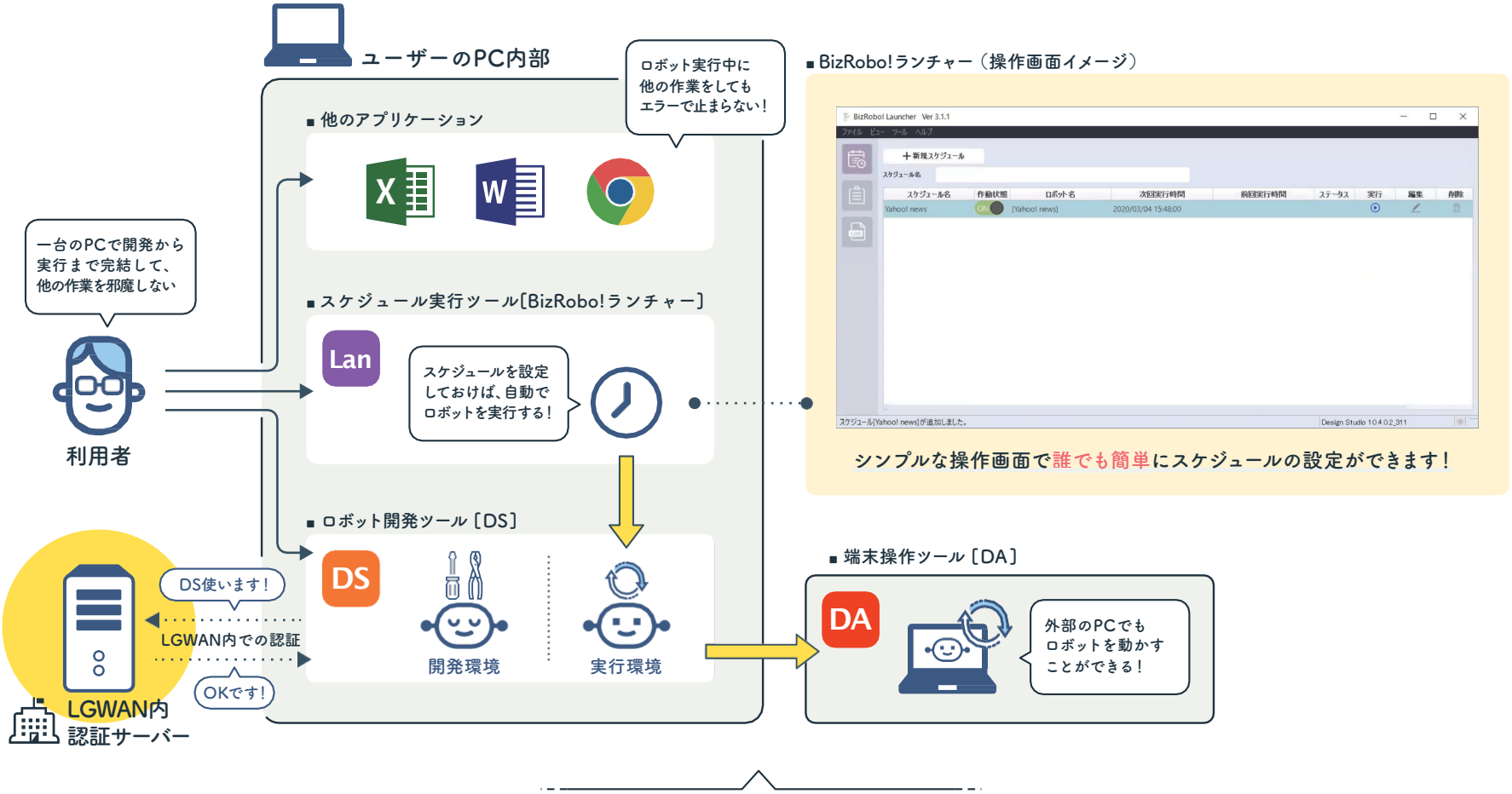


参考：総務省地域力創造グループ 地域情報政策室 自治体のセキュリティ強化に向けた取り組みについて 平成28年7月14日

© OPEN, Inc. All rights reserved.

BizRobo! mini（ガバメントライセンス）の製品内容

LGWAN接続系

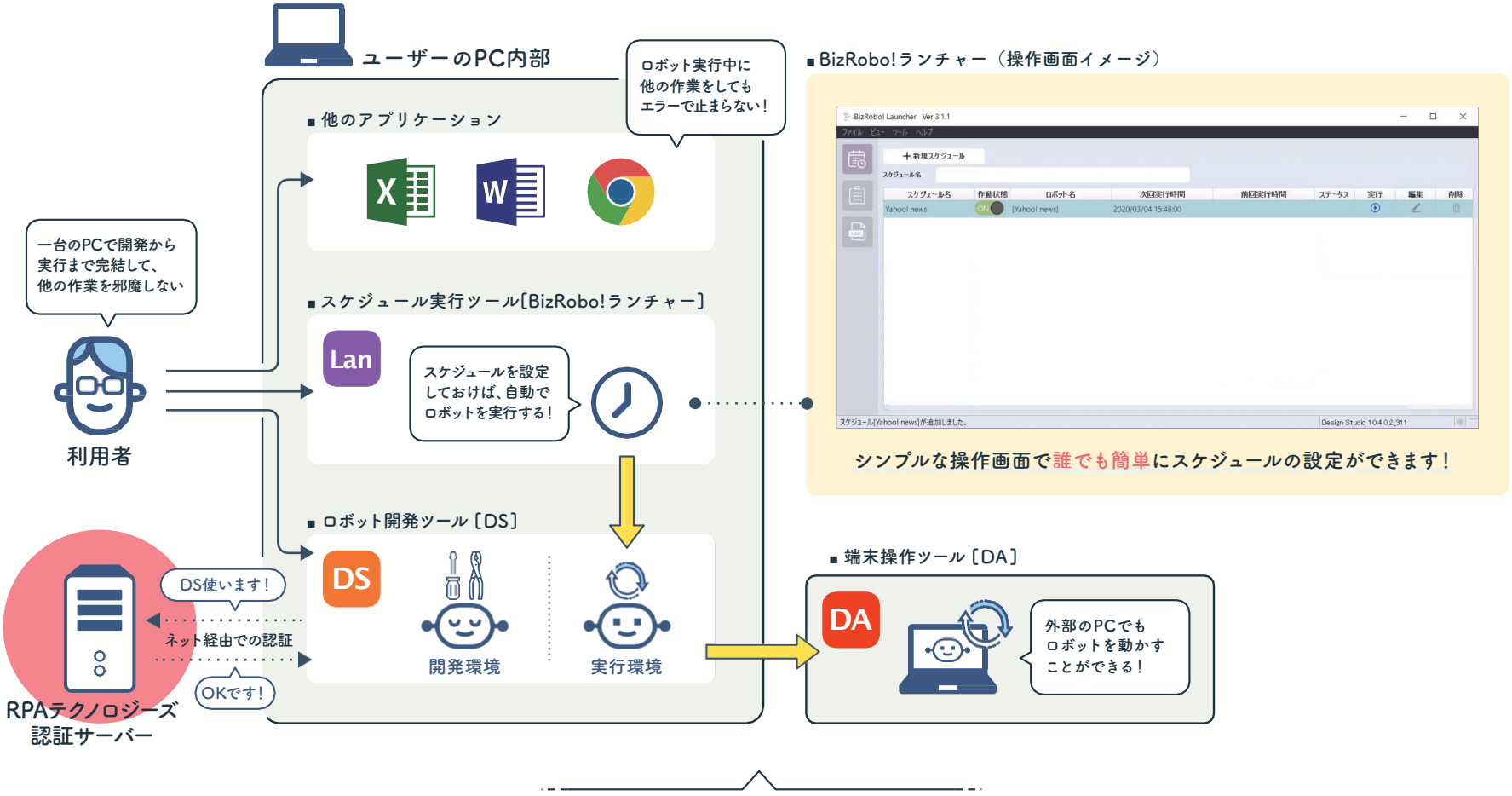


各種サポートコンテンツによる支援体制

© OPEN, Inc. All rights reserved.

BizRobo! mini（ガバメントライセンス）の製品内容

インターネット接続系



各種サポートコンテンツによる支援体制

© OPEN, Inc. All rights reserved.

10 サポートコンテンツ

はじめての方の不安をとりのぞく、多くのサポートをご用意しています。

チャットサポート

オンライン　オフライン

概要

トライアルから本契約後３ヶ月以内のユーザーに対して、業務のロボ化に当たってのご相談や、ロボット開発に関するお問合せを、弊社チャットサポートチームが解決までタイムリーにサポートいたします。

提供方法

BizRobo! PORTALの
「ナレッジベース」→「(対象製品名)」→「チャットサポート」より随時利用可能。

eラーニング（e-Learning）

オンライン　オフライン

概要

BizRobo!の開発や運用方法に関する基礎知識を習得できるオンライン学習コンテンツです。

提供方法

BizRobo! PORTALの
「ラーニング」より随時利用可能。

ロボット開発WEBセミナー

オンライン　オフライン

概要

ロボット開発の為のWEBセミナーです。
Web、デスクトップアプリ、Excelなどの操作を自動化するロボットの作成について、講師が開発画面を実際に操作しながら丁寧に解説します。

提供方法

BizRobo! PORTALの
「イベント情報」→「WEBセミナー」より都度申込。
※BizRobo! PORTALとは別にアカウント登録が必要となります。

ロボット推進WEBセミナー

オンライン　オフライン

概要

RPA導入プロジェクト推進の為のWEBセミナーです。現場から効果的にロボット活用案を集める方法、効果の測定＆報告の仕方などについて、分かりやすい資料を基に講師が丁寧に解説します。

提供方法

BizRobo! PORTALの
「イベント情報」→「WEBセミナー」より都度申込。
※BizRobo! PORTALとは別にアカウント登録が必要となります。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

ユーザー同士で助け合えるコミュニティやイベントもご用意しています。

BizRobo! LAND Community

オンライン　オフライン

概要

BizRobo!ユーザーのためのオンラインコミュニティです。互いにロボット開発に関する質問をし合える他、検定などの申込も可能です。

提供方法

BizRobo! PORTALの
「ナレッジベース」→「BizRobo! LAND Community」

※BizRobo! PORTALとは別にアカウント登録が必要となります。

「https://community.bizrobo.com」でもアクセス可能

BizRobo!ユーザー会

オンライン　オフライン

概要

RPA推進者向けの「BizRobo! CAMP!!」と開発者向けの「BizRobo! CAMPUS!!」に分かれています。ユーザー同士で、現場で実際に起きた課題とその解決策・気付きの共有や、特定のテーマに関するディスカッションができる場です。

提供方法

BizRobo! PORTALの「イベント情報」→「BizRobo! CAMP!! 開催情報」または「開発者向けユーザー会 BizRobo! CAMPUS!!」より都度申込。

※トライアルユーザーはオンラインのみご参加いただけます。

ナレッジベース

オンライン　オフライン

概要

製品の仕様や機能に関する基礎知識、開発・運用時に注意すべき点や、不具合発生時の問題の切り分けや対処法についての情報が掲載されたナレッジサイトです。

提供方法

BizRobo! PORTALの
「ナレッジベース」より随時利用可能。
逆引きガイドも利用できます。

BizRobo! TV（YouTube）

オンライン　オフライン

概要

チュートリアル動画や導入事例など、BizRobo!やRPAに関する多くの動画を配信しています。

提供方法

YouTube内検索で「BizRobo!TV」と入力・検索。
動画を随時ご利用いただけます。

「https://youtube.com/channel/UCrMZV4XNm3_td2BI6hsdUnQ」でもアクセス可能

© OPEN, Inc. All rights reserved.

サポートコンテンツ

業務が忙しくRPAに時間を割けないお客様のご支援もバッチリです。

チャットサポート（延長オプション）

オンライン　オフライン

有償

概要

本契約後４ヶ月目以降のユーザーに対して、業務のロボ化に当たってのご相談や、ロボット開発に関するお問合せを、弊社チャットサポートチームが解決までタイムリーにサポートいたします。

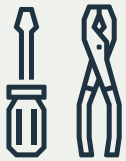
提供方法

BizRobo! PORTALの
「ナレッジベース」→「（対象製品名）」→「チャットサポート」より随時利用可能。

テクニカルサポート

オンライン　オフライン

有償（一部）



概要

ロボット開発や実行時に発生する技術的なご質問を解決までサポートいたします。また過去の質問履歴や、現在のサポート状況を確認いただけます。

提供方法

BizRobo! PORTALの
「ナレッジベース」→「（対象製品名）」→「問い合わせ」より随時利用可能。

開発支援

オンライン　オフライン

有償

概要

ロボット開発やアドバイザリー、または開発者への教育など、お客様の希望に合わせたご支援を、オンサイトかリモートにて行います。

提供方法

営業担当まで個別にご相談ください。

！センター

オンライン　オフライン

有償

概要

「現場のユーザー様主体のBizRobo!利活用」をテーマに行う独自の集合研修です。秋田、名古屋、愛媛、福岡の各会場で実施。今後随時会場を追加予定。
※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、各会場の方針により研修を中止・延期する場合があります。

提供方法

！センター特設サイトより個別申込。

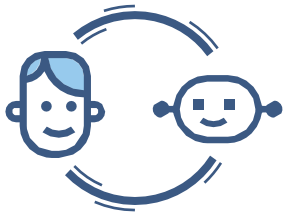
https://rpa-technologies.com/lp/exclamationcenter

© OPEN, Inc. All rights reserved.

11 RPA導入の進め方

標準的なRPA導入の流れ

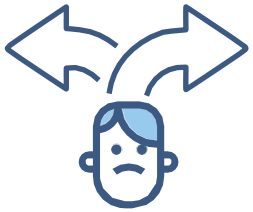
1.体感
ロボットとの協働を体感し
正しい理解を深める



**まずは、とにかくやってみる！
実際にRPAを体感し
RPAで出来ることを理解しよう**

- 初めから完璧を目指さない。
- 小さくシンプルなロボットから試す。
- RPAは業務効率化の手段の1つと捉える。
- 場合によっては、業務自体を見直すことも重要。

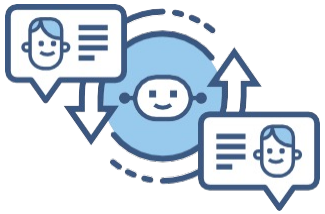
2.計画
大きな方向性を決め
RPA導入をプロジェクト化する



**現状業務の棚卸しや
推 進メンバーの選定など
導入後の方向性を明確にする**

- プロジェクトとしてRPAを推進する。
- 業務の棚卸しをすることで、まずは作れそうなものを選定する。
- ゴール・体制と役割・責任範囲・スケジュールなどを設定し、方向性を定める。

3.導入
実運用でのノウハウと
コミュニケーションの場の確保



**コミュニケーションポイントを
意識的につくり、関係者間の
モチベーションを確保する**

- 社内のナレッジ・ノウハウを共有する場を設定する。(オンライン・オフライン)
- 運用・管理ルールを作る。
- 外部のユーザーコミュニティなども活用し、社外との繋がりもつくる。

4.推進
ブームで終わらせず、
継続して育てていける体制
に

**内製化体制の整備など
ロボットを育て増やしていける
企業体質にしていく**

- RPA専任者や活動時間を強制確保して、ロボットを内製していける体制をつくる。
- RPAに取り組む目的をトップから伝えたり、社内事例を発信するなど企業文化としてRPAを浸透させる。

RPAは「導入すれば完了」とはなりません。

導入後もトライ＆エラーを繰り返して最適化を図ることが重要です。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

12 カスタマーサクセスによる徹底した支援

顧客満足度調査 2019-2020 日経コンピュータ RPAソフト/サービス部門
主要ツールメーカーにおける
サポート満足度 第1位

導入企業様のRPA活用を
伴走支援するためのコンテンツをご用意しております。

1. 体感	2. 計画	3. 導入	4. 推進
ロボットとの協働を体感し正しい理解を深める	大きな方向性を決めRPA導入をプロジェクト化する	実運用でのノウハウとコミュニケーションの場の確保	ブームで終わらせず、継続して育てていける体制に
IT未経験なので、開発ツールがうまく使えるかどうかが心配です…	導入をすすめるにあたり何をどう考えていけばよいのでしょうか?	スムーズに実運用していけるようにスタートしたいのですが…	もっと発展させていきたいのですが、よい方法はないのでしょうか?
チャットサポート など チャットでリアルタイムの相談ができるので、いつでもご質問ください!	**推進Webセミナー など** セミナーで色んな事例を知れたり、直接質問したりもできます!	**オンボードミーティング など** 早期にプロジェクトを進めていけるように、伴走支援いたします!	**ユーザー会 など** 他のユーザー様と交わることで、多くの発見と学びを得ることができます!

RPAプロジェクトを拡大する時に陥りがちなお困りごとを
徹底的にサポートします。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

13 よくあるご質問

Q BizRobo! Mini（ガバメントライセンス）が他ツールよりも優れているところは？

A 一般的に、安価なRPA製品には自動実行機能が付いていないため、
本来、効果を発揮してほしい「人がいない時間」の有効活用がなかなか難しくなっていますが、
BizRobo! mini（ガバメントライセンス）では標準的にスケジュール実行するための機能が備わっており、
スモールスタート時から最大限にRPAの効果を高めていくことが可能です。
また、RPAプロジェクトの拡大の際にも、大規模運用に適したモデルへスムーズに移行できるので
総合的なコストパフォーマンスが高い製品と言えます。

Q RPAは処理が安定せず結構落ちると聞きますが…

A 基本的にRPAはシステムほど安定しないため、絶対的な安定を求めるならシステム開発が必須です。
RPAは落ちる可能性を前提とした上で運用していくことが大事です。
BizRobo!自体、他のツールと比較しても安定しており、デスクトップ型よりサーバー型はより安定しやすいと言えます。

Q 現場スタッフに任せてロボットづくりを進めていきたいのですが…

A BizRobo!は感覚的に操作しやすい開発画面なので、
ひととおり操作した頃には直感的にロボットを開発することができる製品となっています。
また、RPA製品群で唯一のロボット実行方式をつかっているため、
スモールスタートでも安定性が高く、高効率に運用していくことができます。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

よくあるご質問

Q OracleDatabaseやMySQLなどのデータベースは使用可能ですか?

A 利用可能ですが、サポート対象外となります。

Q BizRobo! Launcherで複数ロボットを連続で実行できますか?

A 可能です。
後続スケジュールがWaitingするよう起動時間を詰めて設定してください。

Q BizRobo! Launcherを複数端末で同時に使用することはできますか?

A いいえ。
BizRobo!Launcherの同時使用可能数はDesignStudioと同じく1アカウントにつき1端末のみとなります。

Q 作成したロボットの共有方法はありますか?

A ロボットは、「.robot」という形式で保存されますので、
共有フォルダに格納するなどの方法で、ロボットファイルを共有できます。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

よくあるご質問

Q 最低、何アカウント必要ですか?

A 1アカウントから申し込み可能です。

Q 開発用と実行用で複数アカウントが必要ですか?

A BizRobo!シリーズは開発用と実行用といった機能別ライセンスは販売しておりません。
フル機能版ですので、開発も実行も1アカウントで出来ます。

Q BizRobo! mini(ガバメントライセンス)はLGWAN環境で使えますか?

A 使えます。
インターネット接続系、LGWAN接続系から選択できるので、申し込み時に利用環境をお知らせください。

Q サーバーとの通信はいつ発生しますか?

A ライセンス認証を目的とし、数秒に一度、サーバーに通信を行っております。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

よくあるご質問

Q トライアルはどのように申し込めばよいでしょうか？

A トライアル申込書の提出が必要となります。
申込書受理から約５営業日ほどでアカウント情報をご案内いたします。
開始時期が短納期の場合についてはご希望に添えない場合もありますので、
その際にはご連絡いたします。あらかじめご了承ください。

Q 複数端末でDesignStudioを起動しようとした場合、すでにライセンス認証を行っている端末の認証は保持されたままでしょうか？

A はい。

特定の端末（以下、端末A）ですでにライセンス認証を行っている状態で、
別端末（以下、端末B）でDesign Studioを起動した場合、端末Aの認証は保持されます。
他方、端末Bでは以下のエラーが表示され認証が行われません。

The Management Console is running, but DesignStudio was not able to acquire a license.
The license server could not connect to database.
Contact your administrator for help.

© OPEN, Inc. All rights reserved.

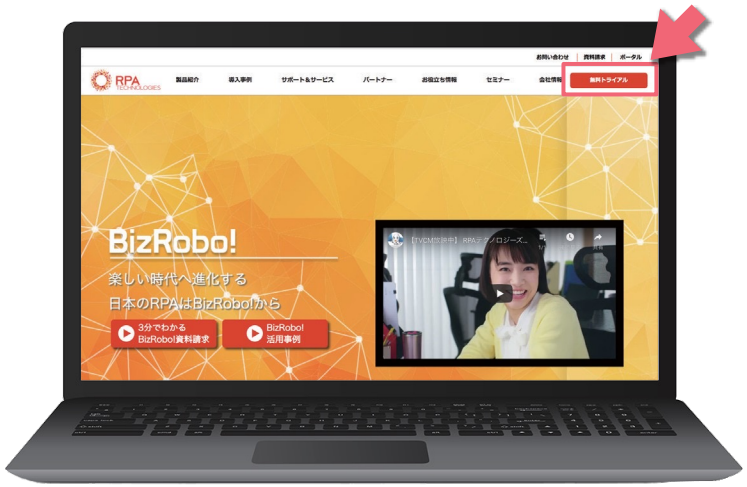
14 BizRobo!をもっと知る

無料トライアルでBizRobo!を体感してください！

無料トライアル中も、導入時とほぼ同等のサポートサービスをご利用いただけます。
Webセミナーをはじめ、チャットサポート等もご活用ください。

充実の
サポート体制

1ヶ月
完全無料



トップページ ＞ メニュー「無料トライアル」をクリック

上部メニューの
「無料トライアル」をクリック

「デスクトップ型RPA」
を選択してください

▶ こちらのURLから直接アクセスいただけます。
https://rpa-technologies.com/inquiry/trial/

※本トライアルは「インターネット接続系」になります。「LGWAN接続系」のトライアルをご希望の場合には、次のページよりお問い合わせください。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

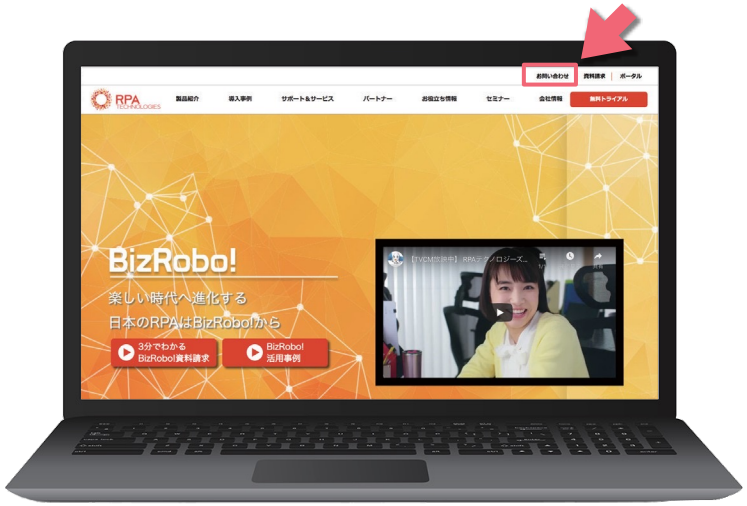
BizRobo!をもっと知る

Webサイトからお手軽にご連絡いただけます

お問い合わせフォームの「お問合せ内容」にご相談内容をご記入のうえ、送信してください。
後日、弊社担当よりご連絡をさせていただきます。

全国各地に拠点あり

リモートでのお打合せOK



トップページ ▶ 最上部メニュー「お問い合わせ」をクリック

「お問合せ内容」にご相談内容をご記入ください。

▶ こちらのURLから直接アクセスいただけます。

https://rpa-technologies.com/inquiry/contact/

© OPEN, Inc. All rights reserved.

会社概要

会社名	オープン株式会社
持ち株会社	オープングループ株式会社【東証プライム：6572】
設立	2013年7月
代表者	代表取締役執行役員社長　石井 岳之
所在地	東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル 3階
事業内容	スマートロボット（RPA、AI）を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業 スマートロボット（RPA、AI）を活用したアウトソーシング事業 スマートロボット（RPA、AI）を活用したデジタルマーケティング、オンライン広告事業

© OPEN, Inc. All rights reserved.

営業拠点

本　　社

東京本社
〒105-0003
東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル 3階

営業拠点

札幌オフィス
〒060-0042
北海道札幌市中央区大通西1-14-2
桂和大通ビル50 9F

名古屋オフィス
〒450-6321
愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1
JPタワー名古屋 21F

大阪オフィス
〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田2-2-2
ヒルトンプラザウエスト 19F

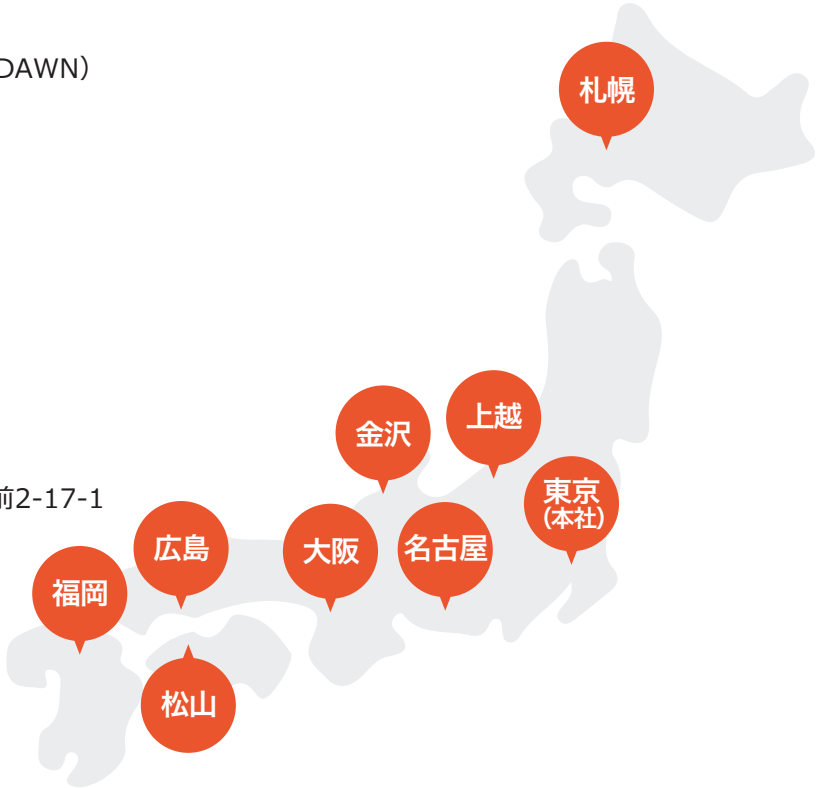
広島オフィス
〒732-0828
広島県広島市南区京橋町1-7
アスティ広島京橋ビルディング 1F

上越サテライトオフィス
〒943-0861
新潟県上越市大和5丁目2-7
エンジョイプラザ 2F（JM-DAWN）

金沢オフィス
〒920-0901
石川県金沢市彦三町1-2-1
アソルティ金沢彦三 3F

松山オフィス
〒790-0003
愛媛県松山市三番町4-9-5
松山センタービル 6F

福岡オフィス
〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前2-17-1
博多プレステージ本館 1F



© OPEN, Inc. All rights reserved.

楽しい時代に進化する
BizRobo!

© OPEN, Inc. All rights reserved.

本カタログの記載事項は変更になる場合がございます。2025年3月版